

令和6年度 学校自己評価【全日制】最終評価

香川県立高松工芸高等学校

◆学校運営計画

教 育 方 針	
自彊して息まざるの精神の涵養を柱として、家庭や地域社会と密接に連携を図りながら、心身ともに健全で、創造力に富み、社会に貢献できる人間性豊かなスペシャリストの育成に努める。	

重 点 目 標		具 体 的 目 標
1	基本的な生活習慣の確立や倫理観、規範意識の育成に努め、学校生活を充実させるとともに、これからの社会の主體的な形成者となるための自覚と実践力の向上を図る。	①日常のさまざまな指導をとおして、基本的な生活習慣を確立し、倫理観や規範意識を育成する。 ②部・同好会活動を始めとする生徒活動をより一層奨励、支援する。
2	日々の授業や、ものづくり、作品づくり、資格取得、体験学習などとおして、基礎的・基本的な知識と技能を確実に習得させ、創意工夫しながら課題を解決する能力を育む。	①望ましい勤労観・職業観の育成と知識・技能の向上を図る。 ②資格取得や各種大会への出場、各種コンクールへの出品を奨励し、学習意欲や創作意欲を高める。
3	学校評価や授業評価を通じて、個々の教員の指導力及び学校全体の教育力の向上を図るとともに、積極的な情報提供に努め、信頼される開かれた学校づくりを進める。	①学校評価や授業評価の結果を、学校運営や授業の改善に確実に結びつける。 ②中学生体験入学やものづくり教室、地域との連携や地域への貢献をとおして本校の魅力や信頼を更に高める。
4	学校の新たな魅力と特色づくりにつなげるため、教育内容や教育課程の見直しを行うとともに、施設・設備を最大限活用して、実習等の内容の充実を図る。	①学習指導要領の趣旨を踏まえて、検証・改善を行いながらよりよい教育活動に努める。 ②施設・設備の更なる活用を図るための整備を進める。

令和6年度 成果と課題	
①学校運営	学校評価アンケート、授業評価アンケート、学校自己評価など、いずれも計画どおり進められ、学校評価委員会にて課題などを検討し改善に努めている。
②教育課程 ・学習指導	生徒からの授業評価アンケートの結果を各教科・学科主任が分析し、検証と改善レポートを作成して配付および情報共有を行った。実力テストや漢字テストなどを計画的に行い、基礎学力の定着及び向上に向け取り組むことができた。
③生徒指導	服装は概ね整備された状態であるが、登校時の遅刻が増加している生徒も数名いるため、家庭との連携を今後も重視していきたい。また、いじめ防止対策として「学校生活アンケート」を実施し、生徒の現状把握、問題の早期発見に努めており、日常の生徒観察を全職員で引き続き実施していく必要がある。
④進路指導	就職希望者は企業の受入が可能な限り、全員が希望企業の職場見学に参加した。3年目となる求人票Web閲覧について2年生の就職希望者も閲覧できるようにし好評である。本校におけるキャリア教育や就職指導等の結果、就職希望者の内定率は100%であった。なお、進学希望者については、結果待ちの者が数名いるため、浪人を含め今後も継続的な指導を要する。
⑤環境・安全	7月中旬および12月に感染症拡大防止のため学級閉鎖となった。感染者の増加が確認された場合は、速やかに学校医や保健体育課に相談し適宜対応しているが、中学までに比べ対策が十分でないとの意見もいただいた。安全管理としては、9月に津波を想定した防災訓練、11月には香川県シェイクアウト参加を通じて防災意識の高揚に繋がった。
⑥開かれた 学校づくり	今年度の工芸展では（株）ポケモンとコラボした特別展示もあり、これまで工芸高校を知らなかった方も多く来場いただけた。8月には中学生を対象にした学科説明会・体験入学を実施し、県内外から延べ609人の中学3年生が参加した。残念ながら、昨年は750人の中学生が参加しており、100人以上減少している。さらに工芸高校の魅力を発信していく必要がある。
⑦特別活動	今年度は石川県で姉妹校交流を実施し、交流で得たことを本校での生徒会活動に活かすことができた。また、今年度、新たに台湾の新北市立鶯歌高級工商職業学校とも連携をとることとなった。是非、訪問の機会を設けていきたい。
⑧情報教育	3年生の教室に電子黒板が新たに配備され、生徒にも教員にも好評で授業効率の向上が見込まれる。タブレット端末については、これまでの貸与と違い購入した生徒が入学するため、これまで以上に活用できるよう推進していく必要がある。
⑨その他	学校評価アンケートでは、生徒・保護者ともに高い評価をいただいているが、厳しいご意見もいただいております。今後とも生徒がより充実した望ましい学校生活を送れるよう検証と改善を行いたい。